

カメラ まちの出来事 あらかると

華やかに奉納

(11月3日 備中町平川)

すきさき
鋤崎八幡神社の秋祭りがあり、伝統の渡り拍子（市指定重要無形民俗文化財）が行われ、華やかに奉納されました。色鮮やかな衣装の跳び子（踊り手）たちは太鼓と鉦に合わせた13種類の踊りを披露し、地元住民や見物客を魅了しました。



観光案内所の拠点を整備

(10月11日 JR備中高梁駅前)

晴れの国おかやま国体の開催に合わせて、観光案内所を整備しました。運営は市観光協会に委託し、同協会のボランティア観光ガイド30人が交替で常駐します。

観光パンフレット約20種類を用意。観光拠点として観光客の利便性を高めていきます。

河原で遊ぼ！

(10月30日 落合町近似ききょう河原)

高梁青年会議所の主催で「河原で遊ぼ！エピソードⅡ」が開かれました。川の環境問題をみんなで考えようと実施。川にかかわる「クイズ」や目標のバケツに向かってルアーを投げる「キャスティング」ゲーム、石の重さ当てクイズなどのコーナーがありました。参加した子どもたちは河原遊びを通じて環境について学びました。





備北商工会開所式

(11月1日 成羽保健センター)

有漢町、成羽町、川上町、備中町の4商工会が合併し「備北商工会」が誕生しました。財政基盤や広域的な経営指導などの強化を目指します。同本部は成羽保健センター2階に置き、本部職員8人、各支所に2人ずつ配置。会員数は約600人。会長には柳井正昭さん(成羽町下原)が選ばれました。

月食の不思議～星空鑑賞会～

(10月17日 有漢地域センター)

有漢学童保育運営委員会、風の会などの主催で「星空鑑賞会」が行われました。部分月食の日に合わせて企画され、児童ら約50人が参加。望遠鏡や双眼鏡をのぞき込み、月食や星空を観察しました。



ほのぼのの荘開所式

(10月13日 川上町地頭)

市は、住居や家族介護などの環境が整わず自宅で生活が困難な独り暮らしの老人や高齢者世帯を支援するため、共同で生活できる「ほのぼのの荘」を整備しました。関係者約40人が出席し開所式を挙行。管理運営は市社会福祉協議会が行います。

厳かな雰囲気の中で戴帽式

(10月7日 順正高等看護専門学校)

順正高等看護専門学校で「第39期生戴帽式」が行われ、1年生の看護学生91人が江口壽榮夫校長から一人ひとりに、真白なナースキャップを授かりました。学生は「誰からも信頼される看護師になります」などと誓いの言葉を述べ、ろうそくに火をともしました。



高粱の魅力をもPR

(11月2日～6日 東京都港区汐留シオサイト)

合併市町村を全国にPRするイベント「全国合併市町村夢フェスタ2005」(総務省、全国地方新聞社連合会など主催)が開かれ、高粱市の魅力を首都圏にPRしました。注目の「桃太郎ぶどう」や「テンペ」などの特産品を販売。ステージでは備中神楽を披露し、多くの来場者の注目を浴びました。

